

まるめろ12月号

介護支援センターあけほの会
弥生苑デイサービス№248
2020年12月1日発行

作品展

11月の下旬頃に毎年恒例となっている作品展を行いました。例年通りであれば、1部屋を貸し切りにして盛大に飾り付けを行います。今年には新型コロナウイルスの影響で三密を避けるため新たな生活様式に合わせた形となりました。

今後も楽しんで頂けるようなイベントを企画していきたいと思っております。



12月単発アクティビティ

- ・12月 1日 (火) 季節の折り紙
- ・12月 7日 (月) 正月リース① 2週連続
- ・12月 14日 (月) 正月リース② 2週連続
- ・12月 15日 (火) 干支のプラパン
- ・12月 16日 (水) リースのキーホルダー
- ・12月 17日 (木) お正月の折り紙
- ・12月 18日 (金) クリスマスのアイロンビーズ
- ・12月 19日 (土) しめ縄作り
- ・21日 (月) ~ 26日 (土) カレンダー作り



リースのキーホルダー



正月の折り紙



新しいお仲間紹介



新たに5名のお客様がご利用になります



12月生まれの方

5名のお客様が誕生日をお迎えになりました
お誕生日おめでとうございます!

※年末年始のお休みについて※

12月29日(火)~1月3日(日)まで休業致します。

1月4日(月)より通常営業致します。

保健だより ～ノロウイルスについて～

●ノロウイルス感染症

今年も、新型コロナウイルス感染症の流行の影響で、インフルエンザやRSウイルス感染症等、様々な感染症の患者報告数が大きく低下しています。ノロウイルス患者報告数の増加は認められていません。しかし、1年で最も流行する季節が近づいていますのでノロウイルス感染症への対策にも注意が必要です。特にノロウイルスには、アルコールではなく、塩素系の消毒剤でなければ効果的な消毒はできません。

●ノロウイルス感染症とは？

ノロウイルス感染症は、乳幼児から高齢者までの幅広い年齢層に急性胃腸炎を引き起こす、ウイルス性の感染症。長期免疫が成立しないため何度もかかります。主に冬場に多発し、11月頃から流行がはじまり12～2月にピークを迎えますが、年間を通して発生します。原因ウイルスであるノロウイルスの増殖は人の腸管内のみですが、乾燥や熱にも強いうえに自然環境下でも長期間生存が可能。感染力が非常に強く、少量のウイルス(10～100)でも感染・発症します。

●ノロウイルス感染症って？

- 感染力が強い
- ウイルスが少量 10～100 個でも発症
- 冬に多い(全シーズン発症ある)
- 汚染された食べ物(牡蠣等)、水を介して感染
- 基本は接触感染(嘔吐後は飛沫感染もある)
- 症状は吐き気、嘔吐、下痢、腹痛、発熱
- 治療は対処療法

●ノロウイルス感染症の治療について

- 吐き気、嘔吐 → 制吐薬
- 発熱 → 解熱剤
- 脱水 → 経口補水液、点滴
- 下痢 → 整腸剤

●感染経路

- 経口感染
- 接触感染
- 飛沫感染
- 空気感染



●予防方法

1. 手洗いうがい
2. 便や嘔吐物の処理
3. 便座やドアノブなどの環境消毒

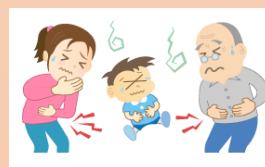
●感染予防

- 一時感染(汚染物食材を食べる事で感染)予防
生食を控え、十分に加熱します。
85度1分以上の加熱調理
- 二次感染(感染者から他人への感染)予防
調理従事者は、調理、前配膳、前用便の後石けんをつけた手洗いを行うよう心がける。



●ノロウイルスの消毒・処理について

1. 嘔吐物や下痢便の処理をする時には、マスク、手袋、ゴーグルなどをして、直接ウイルスが体につかないようにする。
2. 処理をする人以外を近づけないようにする。
3. 嘔吐物や下痢便をペーパータオルなどでよく拭き取り、ビニール袋に入れて密封してから捨てる。
4. 汚物を取り除いた後の床には、まだノロウイルスが残っているので塩素系消毒薬で消毒する。
家庭用の塩素系漂白剤の原液を水で薄めたもので消毒剤ができる。
(500mlのペットボトルに水を入れて、キャップ1杯の原液を加える)
5. 汚物のあった場所を中心に広い範囲を消毒する。ドアノブ、階段の手すり、トイレの便座なども塩素系の消毒剤でこまめに拭き取り消毒する。
6. タオルは別々に使う。



●ノロウイルス感染症の意外な感染源

ノロウイルス感染症の意外な感染源が、「舞い上がったホコリ」です。嘔吐物や下痢便に対して、適切な処理をしない場合、その場に残存しているノロウイルスがホコリとともに舞い上がって、その日だけでなく、数日を経ても、その場所を歩いただけの人がそのノロウイルスを吸い込んで感染してしまうことがあります。